

2022年4月14日

## 福島県立医科大学作製がんオルガノイド(F-PDO®)の提供を通じたCancerTools.orgとのパートナーシップ締結について

CancerTools.org (英国癌研究機関Cancer Research UKの研究ツール提供専門機関)と福島県立医科大学(拠点：福島県福島市、以下「福島医大」と住商ファーマインターナショナル株式会社(拠点：東京都千代田区、以下「住商ファーマ」)はこの度、がん研究への更なる貢献という共通の使命を果たすべく、新たなパートナーシップを締結したことを発表しました。

がん研究の進歩はこれまで、各研究者が保有する希少且つ特徴的ながん研究資材が、どこまで研究者のコミュニティ内で公開・使用許諾されるかに依存してきました。今回のパートナーシップにより、疾患モデルの樹立・薬剤開発・毒性学スクリーニング等を目的としている世界中のがん研究者が、CancerTools.orgのオリジナルプラットフォームを介して、福島医大が作製・開発するがんオルガノイド(F-PDO®※1)を利活用できるようになります。

今回のパートナーシップでCancerTools.orgは、福島医大及びその海外展開パートナーである住商ファーマと協業して、F-PDO®の自拠点生産・品質管理・世界展開を担うこととなります。F-PDO®は、CancerTools.orgの既存のポートフォリオに含まれる品目としては初となる、原発腫瘍組織由来オルガノイドです。

F-PDO®とは、患者から直接摘出された、非常に特徴的ながん組織由来培養細胞(塊)のことであり、計15種類のがん種を取り揃えています。F-PDO®を増殖・分化させることにより、元のがん組織の特徴を機能的に受け継ぐ「ミニ臓器」を樹立することが可能です。遺伝子プロファイルの観点からもこの特徴は受け継がれているため、疾患モデルの樹立目的だけでなく、薬剤の安全性及び有効性を評価する為の生理学的手法としても使用することが出来ます。これまでがん研究に用いられてきた細胞モデルと比較しても、薬剤等の治療に対する患者の生理学的反応をよりの確に予測・確認することが可能です。

福島医大の高木基樹教授は、次のように述べました。「CancerTools.org及び住商ファーマとのパートナーシップにより、世界中のがん研究者が、F-PDO®という素晴らしい技術にアクセス・使用できるようになります。これは、福島医大に所属する研究者達がこれまで積み上げてきた研究成果が、研究室という枠を超え、世界規模でのがん研究加速に貢献できることを示す、非常に有意義な機会だと感じています。」

CancerTools.org / Cancer Research UKのグローバルヘッドであるRobert Bondaryk氏は、次のように述べました。「CancerTools.orgでは、世界規模でのがん研究の加速を最重要使命としています。福島医大及び住商ファーマとの協業により、福島医大で開発されているツールの研究価値を、世界のコミュニティに対し示すことが出来るのです。F-PDO®は、CancerTools.orgのポートフォリオを拡充させるものであり、*in vitro* 疾患モデルの樹立・創薬研究・安全性及び毒性試験に役立つ最適なツールの一つとして、提供されていくこととなります。」

住商ファーマの代表取締役社長である奥山勝也は、次のように述べました。「今回のパートナーシップにより、福島医大が開発する非常にユニークな研究資材であるF-PDO®が、CancerTools.orgというグローバルなプラットフォームを通して、腫瘍学研究の進歩に有意義な影響を与えられることを非常に嬉しく思います。」



### CancerTools.org / Cancer Research UKについて

CancerTools.orgは、がん研究者・学術機関・学会等により運営される、Cancer Research UKの研究ツール提供専門非営利機関で、「世界規模でのがん研究の加速」を最重要使命としています。この共同機関では、各研究者はお互いの研究ツールや知見を提供しあい、がんに対する理解を共に深めることを目的としています。

Cancer Research UK (CRUK)は、研究を通じてがんの克服を目指す、世界有数の慈善団体です。基礎研究・トランスレーショナルリサーチ・臨床研究から集団研究まで幅広い分野にまたがるがん研究に対し、ファンディング・学会・イニシアチブ等の機会を通じて、年間4億ポンド以上を投じています。

### 福島県立医科大学について

福島県立医科大学は、福島県民の健康・医療・福祉に貢献する医療人の教育および育成を目的として設立されました。同時に、研究機関として、「絶え間ない研究の成果を世に問い続ける」という重要な使命を担っています。

2011年の東日本大震災と原子力発電所事故後、福島の復興を医療・健康面から支援することをいち早く宣言し、世界の医療機関や研究機関と連携して活動を実施してきました。その活動の一環として、2012年に「医療-産業トランスレーショナルリサーチセンター」を設立しました。医療界と産業界の橋渡しを担うことで、福島医大はがんを中心とした諸疾患の新薬・診断薬・検査薬の開発を多面的に支援しています。

これらの取組みにより、福島医大は福島県内の医薬品関連産業の創出・集積・雇用に貢献すると共に、福島県内のがん治療・診断の質の向上に寄与し、県民の健康維持及び増進に貢献しています。

詳細については<https://www.fmu.ac.jp/home/trc/en/>をご覧ください。

### 住商ファーマインターナショナルについて

住商ファーマインターナショナルは、創薬研究向けの研究機器と生物資源、医薬ライセンス、研究提携支援から、新薬、ジェネリック薬及びバイオリジクスの原薬、中間体の製造向けに至るまで、製薬業界に高品質で統合された製品やサービスを提供しています。親会社である住友商事株式会社は、66か国111拠点、日本国内20拠点を有し幅広い製品・サービスを提供しており、グローバルリーディング企業の1つです。住商ファーマは住友商事の一中核事業会社としてメディカルサイエンス向けの製品・サービス提供の中心的役割を担っています。

詳細については、<https://www.summitpharma.co.jp/>をご覧ください。

※1. F-PDO®は公立大学法人福島県立医科大学の登録商標であり、福島医薬品関連産業支援拠点化事業により開発されました。

お問い合わせ先：

住商ファーマインターナショナル株式会社

創薬支援部 バイオロジーグループ

Email: [alliance@summitpharma.co.jp](mailto:alliance@summitpharma.co.jp)